

令和6年 6月21日(金)

# あさひの日だまり

NO.11

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

## ～水泳の授業が始まります～

## プール開きがありました



19日(水)の朝プール開きがありました。代表の児童3名が今年のプールでの目標などをお話してくれました。嬉しかったのは「プールは好きではなかったけれど、小学校の授業でプールがすごく楽しくなりました」というお話をしてくれた児童がいたことです。

「今年のプールの目標は、水を飲まないことです」というお話をしてくれた児童もいました。きっと息継ぎの時などに水を飲んでしまうのでしょう。「苦しくて水泳っていやだな」って思っているのかもしれませんが。先生や友だちの力を借りて水を飲まずに泳げるようになったらこれから先の人生の大きな宝になります。「水を飲まずに泳げるようになりました！」という感想を今年のプールが終わった後に聞けたらどんなに嬉しいでしょう。これも一つの大きな挑戦ですね。

体育の担当の先生からは、命にかかわる授業です。約束をしっかり守って安全に授業ができるようにしましょう。というお話がありました。お話の通りだと思いながら聞きました。楽しさと怖さが一緒になっているのが水泳です。今年の水泳が子どもたちのにとって本当に楽しい時間になってくれることを心から願います。

夏休みに入る前に今年の水泳の感想を聞いたら「こんなことができるようになったんだよ」って大きな声で自慢して欲しいです。子どもたちの頑張りを応援したいと思います。

プール開きの様子と、初めての1年生の授業の様子を写真で紹介しました。1年生はプールの中をグルグル回り、担任の高野先生が作ったシャワーの下をニコニコ顔で駆け抜けていました。こんなに楽しい授業だったらきっと「早くプールの時間が来ないかな」という気持ちになってくれると思います。水を好きになってプールを大好きになって欲しいです。



## ～お花を植えて下さいました～

右の写真は、毎年花壇の花を植えて下さっている地域の皆さんです。一仕事終え木陰でお休みされているところを撮らせていた



できました。本校の赤羽先生との関係でここ数年は継続してご来校いただき花壇作りをして下さっています。多くの子どもたちや職員にとっては知らないうちに花壇が整備されて知らないうちに花が咲いているというのが実際なのだと思うのです。しかし実は知らないところでお力をお貸し下さっている方がこうしているのです。この方たちは子どもや職員に感謝してもらいたいなどとは決してお思いになりません。こういうお姿を見ると、私の知らないところで本当にたくさんの方に学校というところは支えられているのだということを実感するとともに、感謝してもしつくないほどありがたいことだと感じます。次の文章も地域の方への感謝の思いを込めて書きました。

## ～子どもたちを見守ってくれています～

## 地域の皆さんに感謝です



家から学校へ来る途中、交差点に黄色い服を着た地域の方が旗を持って子どもたちの通学を見守って下さっていました。車でしたのでお礼も言えず通過してしまいました。もしこのお便りを読んで下さっていたら幸いです。この場をお借りして心から御礼申し上げます。

左の写真は、学校の校門の横にご自宅がある桜井さんです。桜井さんは毎朝こうして子どもたちの登校時に校門前の交差点に立って下さっています。一人ひとりの子どもたちに声をかけて下さり、歩行者用の信号機のボタンを押して下さい。子どもたちが横断歩道を渡り終えるまでその背中に温かな眼差しを注いで下さっています。

私はこの学校にお世話になって3年目ですが、その時からずっと桜井さんの姿を見てきました。いったい何年間にわたって子どもたちの姿を見守って下さっているのでしょうか。毎朝みている子どもたちのその日のちょっとした様子の違いにも桜井さんは気が付いておられるのだらうと思います。そして、本校

を卒業した子どもたちはどこで生活していても、桜井さんのことはきっと覚えているだらうと思います。

この日は「どうでしょうか子どもたちはちゃんとあいさつができますか？」とお尋ねしました。「この頃本当によくあいさつができます」とお話ししてくださいました。子どもたちがしっかり成長しているという面もあるとは思いますが、桜井さんが毎朝毎朝声をかけ続けて下さっていることのおかげであることは間違えありません。